

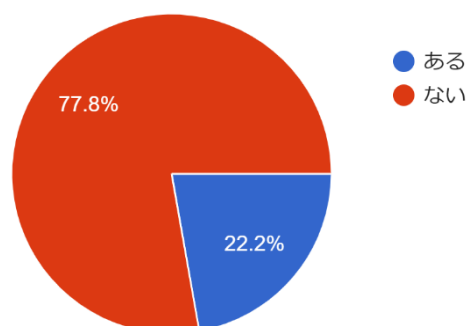
令和6年度 ちょうふ福祉ヒューマンライブラリー ～題名だけじゃわからない生きている本～

読者アンケート

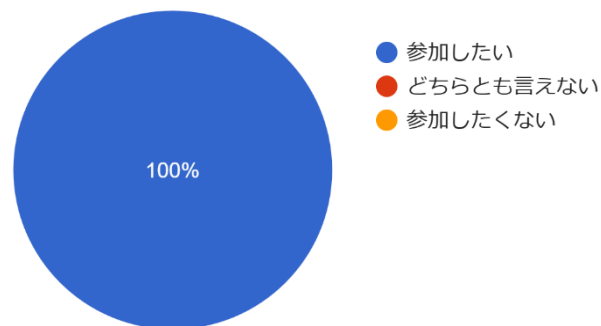
2月22日(土)14時から、令和6年度ちょうふ福祉ヒューマンライブラリー～題名だけじゃわからない「生きている本」～を開催しました。読者は事前に2冊の本を選び、対話形式で本を読み込み、味わいました。

■ アンケート集計

Q. ヒューマンライブラリーに参加した経験



Q. またヒューマンライブラリーに参加したいか



Q. また参加したいと感じた理由

とても心が穏やかになれる、そして素敵な本の方々ばかりでひきこまれたので / 直接対話ができる。本に見立てることで適度な距離感も担保できる印象。同じ本を読んでもいろんな感想や質問があることを知る驚きと喜び / いろいろ考えさせられることが多く、自分のためになるので / 本の続きやもっとたくさんの本を読みたいと思ったから。また自分の視野や思考も広がると感じるから / 新しい考え方や、ものの見方を知ることができるから / 新しい気づき、世界の広がりを感じられたから / 活字ではない本、作者の織り成す物語を実際に聞くことで、より深いものになると実感したから / 直接お話しできる貴重な機会だと感じたため / 障害者の方に障害の事について話を聞く事は、日常では難しいため。もっと深く読んで考えたい

Q. 参加して心に残った言葉やキーワード(3つ程度)

理解を深めたい / 対話 / 共感 / 精神科の通院歴や入院歴があったと報道するマスコミの「テンプレ」 / 自分はここにいてもいいんだ / 「この本の続きをどう書こう」「続きが読みたい」 / 障害者として生きる意味 / ひとりの人間としての価値、やりがい / 自己開示 / 葛藤 / 前進 / コミュニケーション障害 / 紙芝居から動画へ / 音がおりてくる / 豊かさを持ち続けること / 人として生きていく意味 / 自分で社会で何ができるか考える / 作曲家を続けていこうと誓った / コミュニケーション障害 / 青空を見上げるとメロ

Q. 上記以外で感じたことなど

大変素敵な会をありがとうございました。もっとたくさんの方に知ってもらいたい企画だと強く感じました。副題にあった題名だけじゃ分からない、正に生きている本だと思います。本の続きを想像しながら余韻に浸りたいと思います / 素晴らしかったです。センターの方が司書を兼ね、その話をしてくれたことで執筆過程も垣間見えました / 本の方のお話に引き込まれ、ワクワクして聞いていました。いろいろな本を読みたいと思いました / 大変貴重な、有意義な場を設けてくださり、ありがとうございました。是非、継続して企画していただきたいです。よろしくお願いします / 人間味や情熱を感じる読書時間でした / 「障害」という部分は、その人のきっと大きな要素だけれど、ほんの一部分なんだなと改めて思いました。本のタイトルを見てこの障害の人にはこんなことを聞こう、と思っていた自分が恥ずかしいと思いました / お話を聞くたびに、自分ってなんて無知なんだろう、でも知らないことだらけでワクワクするなと思いました / ご自分のことを話す過程には大きな物語があったと思います。お話を聞かせて下さって、どうもありがとうございました / 作者、読者、ナビゲーター、それぞれに良い結果を生み出す取り組みと感じました / こうした素晴らしい取り組みはマスメディアに取り上げて頂き、社会に広げて欲しいです / こういう機会を作って下さって感謝します。わがままを言わせて貰えば年に2.3回開いてほしいし、長い物語も読んでみたいです